【M 情報】2025-09-要田-DairyComp データのバックアップについて

要田　大地

先日、「DairyComp の牛群データ（cowfile）が消えてしまったがどうすればよいか」というお問い合わせをいただきました。
このようなデータの消失に備えるため、日常的にバックアップをとっておくことが重要です。
バックアップがない場合、データを適切に復旧できない場合があります。
DairyComp 305 におけるバックアップ方法を簡単にご紹介します。

■1. ローカルに保存する方法

- 自動バックアップ
  - コマンドラインで SETUP と入力し、[Backups] タブで設定します。
  - 頻度（例：毎日)、保存するバックアップ数、保存先フォルダを指定できます。
  - 保存先は 2 か所まで指定可能です（例：PC 本体とネットワークドライブ)。
  - 保存先を指定しない場合、DairyComp のインストールフォルダに自動保存されます。
- 手動バックアップ
  - ツールバーのボタンをクリックするか、コマンドラインで SAVE を実行します。
  - 保存先やファイル名はカスタマイズできます。

■2. クラウドに保存する方法

- 「クラウドバックアップ」とは、cowfile のデータを VAS 社のオンライン上に保存する方法です。
- クラウドバックアップをするためには Herd Code と呼ばれる農場ごとの ID を発行する必要があります。
- このバックアップにはインターネット接続が必要です。
- 一般的には農場で DairyComp を使用している場合、自動で実行するよ

うに設定が可能です。

- （自動的に実行する場合）ALTER コマンド → オプション 6（Task Scheduler）で設定を確認できます。
- スケジュール一覧に CONNECT¥IU というコマンドがあることを確認してください。
    - このコマンドは、毎日指定した時刻にクラウドへバックアップを送信するタスクです。
    - 設定された日付が正しいかどうか確認し、必要に応じて修正できます。
    - 手動で CONNECT¥IU コマンドを実行することも可能です。

■3. 注意点

- クラウドバックアップには「Herd code」の発行が必要です。
  ご希望の方は弊社までご連絡ください。
- VAS PULSE Platform を導入していても、DC305 のクラウドバックアップは別途設定が必要です。

■4. 連絡先

Herd code の発行等については、以下の連絡先までご連絡ください。

DC305support@thms.co.jp

■5. その他（ご案内）

DairyComp をご利用中の農場の皆さまへ。
2026 年度の DairyComp 更新作業がまもなく始まります。 来年度の価格については VAS 社と協議予定ですが、まずは現在ご利用中の **搾乳牛頭数・乾乳牛頭数** の確認依頼を今後発出いたしますので、ご協力をお願いいたします。